

会 議 録

会 議 名	令和6年度文化によるまちづくり推進委員会（第1回）	
開 催 日 時	令和6年9月19日（木） 18時～19時15分	
開 催 場 所	市役所3階 大会議室	
出 席 者	岸田 茂、比嘉 朝康、縄田 也千、穂本 真一、 竹内 道子、伊達 洋二、松永 進、塩田 賢二、	委員数 15人 出席者数 8人 欠席者数 7人
欠 席 者	齊藤 大二郎、廣田 由実、西村 裕文、東原 秀一、 伊藤 久美子、脇本 忠典、日高 巧一朗	
事務担当課 及び職員	協創部文化スポーツ推進課 文化スポーツ推進課：原田課長、桑原、別府	
会 議 次 第	1 委員長あいさつ 2 委員及び事務局の自己紹介 3 報告事項 （1）令和5年度文化振興事業について 4 議題 （1）令和6年度文化振興事業について （2）令和7年度の文化振興事業について 5 その他	
委員	次第3 報告事項 （1）令和5年度文化振興事業について 資料1に沿って説明。 質問ではないが、資料1は時系列になっていると思うが、ビジョンの前期行動計画に沿ったまとめ方をさせていただくとわかりやすい。やった行事はこれでわかるが、ビジョンの内容でどこができてどこができなかったのか、またどこが問題になるのかはビジョンに沿って出してもらおうとわかりやすいと思う。	
委員長	時系列と事業ごとの2つのソートが必要になると思う。	
事務局	承知した。	
	次第4 議題 （1）令和6年度文化振興事業について 資料2に沿って説明。 質問なし	

	<p>(2) 令和7年度の文化振興事業について</p> <p>資料3に沿って説明。</p>
委員長	<p>「担い手の育成・若手芸術家の活動支援及び芸術創造活動への支援について」は、具体的なビジョンが現在のところないため、今後に見送る。「文化芸術データベースの構築と活用」は、正直自分もイメージがつかめていない。広報的なことなのか、記録的なことなのか、わかる方がいれば教えていただきたい。</p>
委員	<p>私がイメージするに、市民文化際の各部門の作品展があったところに、それぞれに誰が参加しているというのが文字のみである。それをクリックしたらどんな団体でどのような活動をしているというのがわかるようなページに飛ぶようなものが理想である。</p>
委員長	<p>リンクする元情報をどうするのか。</p>
委員	<p>各団体が独立してページを持たれているのが理想であるが、技術も費用もないため難しいと思う。活動内容や練習場所、問い合わせ先がわかるようなものがあれば便利である。</p>
委員	<p>データベースの活用ではないかもしれないが、市民文化祭について思うところがある。PR活動が全く足りていない。広報には出すが、ポスターもなくチラシのみである。内容も充実していない。LINEもあると思うが、もう少し内容についてPRしていきたい。ポスターをまず作りたい。</p>
委員長	<p>文化スポーツ推進課のInstagramに載せることは可能か。</p>
事務局	<p>可能である。InstagramやLINEに掲載するのは対応可能である。</p>
委員長	<p>元データを誰が作るのかが問題である。誰がやるのか。</p>
事務局	<p>データや写真をいただければ、市が対応する。</p>
委員	<p>費用がかかるかもしれないが、まずポスターを作成したい。</p>
事務局	<p>費用がかかるため、今年度の対応は難しい。来年度予算に計上したい。</p>
委員	<p>ホームページに載せる場合はどのページに載せるようになるのか。</p>

事務局	今のところ専用ページというのが、文化スポーツ推進課のページとなる。
委員長	先ほど委員が言われていたのは、それを深掘りしたものである。そこから個人検索できるようなもの。
委員	例えばかるたで言うと、クイーンがいらっしやる。それを検索したときに、彼女達のプロフィールなどが出てくるようなものはあるのか。
委員	ホームページはあるが、特に2人のクイーンの専用ページというものはない。
委員	そういうのが市としてすぐ出てきたら良い。
委員長	それはかるた協会さんの方でできるのか。
委員	それは可能である。
委員	全体的にそういうものがあって、それをかるた協会さんの方でも活用する形が良いのではないか。
委員	ビジョンや行動計画の作成の時に、わが市の文化芸術団体がどういうものがあるのか、文化協会には確か150くらいの団体が登録されていると思うが、その他にも当然協会に入っていない方で芸術文化活動をされている、個人あるいは団体の方がおられる。そういう方達がどのくらいいるのかというのがこれを作成するときに不明だったため、まずそういうところから集めようかという話がでた。一番確実なのは、文化協会に登録されている150団体の方がどのような方達なのかというデータベースが必要である。その他にプラスアルファでどのような方がいるかというような流れになる。まずはそれをどこにデータを作るのか。それは行政が担う必要があると考える。文化協会さんの方に全部といのは難しいと考えるため、行政がやってそれをどこに保管するのか。ホームページのどこのページに置くのか。あるいは、別の記録媒体にするのか、それは検討する必要がある。それがあって初めて各団体の活動内容等が繋がっていくのではないか。
委員	実は文化協会はそういうのを作成している。何名くらいの団体で、代表が誰かなどは存在するが、毎年情報を更新しなければならない。更新ができていない。

委員	それを市に渡してはどうか。
委員	個人情報の問題がある。
委員	それは考慮する必要がある。
委員	内容が更新されていないため、手間がかかる。
委員	先日チャリティコンサートがあつて素晴らしいと思った。子ども達が素晴らしい技量でピアノ等弾いていた。
委員	あれは優秀な子たちが集まっている。
委員	皆さん受賞歴があるような方が演奏されていた。我が市のみではなく他市からも来られていたが、素晴らしい子ども達がいると改めて感心したところである。
委員長	子ども達だけではないですよ。
委員	そういうのも市として把握する必要がある。
委員長	毎年同じような話になる。
委員	ホームページに専用ページを作ることはできるのか。
事務局	それは可能であるが、どのようなものをどこまで公開するのかによる。それとよく御指摘いただくのは、市のホームページは様々な角度から潜っていくような形になっているためわかりづらい。
委員	公開するのは別として、まずデータベースを作るというのが前提ではないか。市として、どういうふうな方達がどのようなことをやっているのかという情報をまず集める。集めて次に公開をどうするのかという段階になる。基本となるデータがないのではないか。まずはそれを集める。公開は二の次である。どういう情報が集まったかによって、公開するにはどうしたら良いかという話になる。一気にはいかない。情報を集めるのに相当時間がかかる。集まった段階でこういう場で報告し、では次に個人情報に配慮しながらどういうふうに公開するかを皆で議論していく必要がある。

委員長	情報はあがるが、電子情報化されていない。ここが問題である。例えば文スポの方でどなたかが文化協会に電子化するのを手伝ってもらえればできるのではないか。あとはデータ化に載せる時点で個人情報に嫌だという人がいるかもしれない。それはその都度確認していく必要がある。
事務局	行政が目的を言わずにデータをくださいと言っても、どれだけの方からいただけるのかは少し疑問に思う。やはり何かをするに当たってデータをくださいというのがとっかかりとしてあった方がよい。
委員長	例えば、文化協会にあるデータを情報化して、まず見本を作る。これはこういうことに使いますよと、それを追いかけて市民の方々に情報をくださいという形を取ってはどうか。
事務局	それは問題ないと思う。まずは委員の方になるかもしれないが、文化協会さんのデータを市の方に預けて良いかというのを確認いただいて、良ければデータをどんどんいただければ。
委員	更新されておらず、データが古いままである。
委員長	古いままで良いのではないか。
事務局	古いものをいただいて我々が連絡しても良いが、許可をいただいて良いものか。
委員長	それは問題である。
事務局	こちらもそう思う。文化協会にひと手間かけていただいてから、データをいただければと思う。
委員	入会するときには手続きが必要になる。団の名前や代表者が変わるとその都度そちらからの申し出が必要になるのか。文化協会に入っている団体は文化協会が行いますが、市民の方のもとなるとできない。
委員長	まずは文化協会の方で見本を作るところからである。何か手続きは必要となるか。
委員	それよりも、まずは市民文化祭のほうである。ポスターを作成してほしい。

委員長	それは先ほど予算の関係で難しいとのことだった。
事務局	予算もあるが、不二輸送機ホールの方が担当となるため、担当者不在で何も言えない。
委員	市民音楽祭は自立しており、自分たちでチラシ等作成している。参加料もいただいている。市民音楽祭については、PRできていると思う。
委員長	情報はある。それを電子化すれば良い。
事務局	では、文化協会さんの方でいただけるデータを整理していただければ。
委員	これは令和7年からですか。
委員長	もう始めていただいて。効果があるのは令和7年度からかもしれないが、やらないとまた来年度に同じ話になる。
委員	令和7年度予算はもう終わっているのか。
事務局	今からだが、データベース化するのみであれば、予算は必要ないと考える。委員が先ほど言われたポスター等は一応チャレンジしてみる。
委員長	次に令和7年度のコーディネーターの確保であるが、皆さんのイメージがどういったものか教えてほしい。コーディネーターに何を求めているのか。
委員	プロモーターに話を聞いたことがある。その時の報告書もある。ニーズがあるため、山口市や防府市等は法人化していると思う。企画するときプロモーターが入っている。いろんな部門の方から何をしたいのか意見や困り事を聞いて行っている。例がよそにたくさんある。そういうところに視察に行くのはどうか。
委員長	コーディネーターの認識を統一していた方が良い。委員は今プロモーター的などところとダブっている。うちの市に必要なものは何か。コーディネーターがいなくてもこれだけの事業をすでに市でやっている。コーディネーターが入ることで、これがどう変わるのか。
委員	先ほど委員が、時系列ではなく分類別に事業を並べてみてはどうかとあったが、それを見てこの部分は強いがここが弱いというのが分かる。弱

	い部分を捨てるのか、広げていくのかというときに、我々に知識がなければコーディネーターに目的を達成するための手段を組み立ててくれないかと依頼する。あまり予算がないので、入場料も含めて収支決算がとんとんになれるようにお願いします。予算も含めてアドバイスいただけるような方。
委員長	今の意見は、このまちが求めているものをコーディネーターにお願いする形になる。
委員	全部は難しいと思う。
委員長	委員の言われるデータベースが必要になる。
委員	「かるた」でいうと委員がまさしくコーディネーターとなる。
委員長	それは間違いない。そこについては必要ない。
委員	そのあたりのバランスが必要になる。
委員	全体をコーディネートしてもらうのは難しい。このまちを知らない人を連れてきても、ある一つの事業はできるかもしれないが、全部は難しい。一つ思ったのが、平成7年頃に冬のイベントでイルミネーションコンサートというものが市民館・図書館あたりであった。その時に市民も参加できるものにしたいということで、照明器具を担当した方が購入し、市民に募集した。出演料の中に指導料も込みで委託料に入っており、スタッフに技術を教えてくれた。そして本番はその方は帰られた。市民だけでやった。コーディネーターがこういうところに来てくれて教えてくれるというのは大事。すごい人を連れてきて何かしてもらおうというよりも、下からお願いする形がよい。
委員長	委員の言われることは、何かやりたいことがあってその知恵が欲しいということになる。
委員	そういうことにコーディネーターを使った方がよい。
委員長	先ほどの委員と似た考えである。
委員	バラバラにいっぱいある中でやるよりは、ターゲットを決めてやった方がよい。

委員	ビジョンを設定するなら、そこにヒントがあるかもしれない。
委員	イベント時は照明等が別にお金がかかるため、そういうことを教えてもらえるのは貴重である。
委員長	委員が言われたのは一つの例題で、最初に委員が言われたのはビジョンが何なのかということに戻る。時系列も大事だが、ビジョンの単位でいつどのようなことが行われているかということが確かに必要である。そこから長所を伸ばしたり、足りないものを補うことになる。選んでいくようになる。
委員	別紙2にある「コーディネーターに求めること」これが何なのかにつける。ビジョンを作ったときには、市内にいろいろな芸術はあるけれども、それを総合的に融合させるところを求めたいということで、自分達では難しいから知見を持っておられる方を依頼してということでコーディネーターが出てきたと思う。本当にそれをするのか。あるいはあるスポットの芸術に対してこれをさらに発展させるため、より広げるためにはどうするのかというコーディネーターを求めるのかということでは全然違ってくる。ビジョンで語ったのはそういうことではなく、市がたくさん事業をしているが、全体を集約して我が市の文化芸術とは何かをまとめるその役割をお願いしたいということで、コーディネーターが出てきたと思う。それにこだわることはないかもしれないが、ここでコーディネーターの役割を改めて議論する必要がある。
委員長	事務局が別紙に記載している人物像、役割、求めること、条件を総合的にして何がやりたいのか、これが今ないのではないかと思う。
事務局	ビジョンができた時に4つほど基本方針があるため、1つはこれを目指しているんだと。行政の立場からいうと、市の職員は変わってしまう。当時このビジョンを作った者はもうおりません。我々は受け継いだ際に、このコーディネーターについてかなりの議論になったと。コーディネーターが一番雇わないといけないし、これから課題になると言われたが、私を感じるに、皆さんがコーディネーターで良いのかと。その都度その都度で協議をしていただきながらやっていただくパターンもあるし、皆さんも年度で変わられる方もいらっしゃるため、そのあたりもあると思うが、今の時点で一人誰かを雇用する必要があるのかどうか。一つの目標として7年度に雇用という話があったが、それは一旦先延ばしにするという方法もある。行政が変わってしまうというところが

	あるため、ある程度何年間か一人コーディネーター的な人がいたらという話が出たという認識がある。
委員長	いろんな意味でまだ準備が整っていないと考える。まずデータ化して市民の皆さんに知ってもらうことが先である。
委員	我々このメンバーが何か見てぱっとわかるような何かの資料が必要である。みんなが共通意識を持てるようになることが必要ではないか。それぞれ専門家がいるので、それについては詳しいと思うが、その他のところで何をやっているのか。様々な部門があるが、どういうふうな形になっているのかと。個人で描いているものが違う。それをまず整理して示せるような形にすると議論が進むと思う。
委員長	見る情報がない。
委員	個人情報というのであれば、まずはタイトルだけでも良いと思う。どういう団体があるのかということからでも良いと思う。登録されていない個人でやられている方を探すのは難しいと思うが。
委員長	事務局の方で手伝ってもらい、文化協会の方で150団体のデータを入れて、こういう団体がいるというだけでも違う。これは見えるようにして、それにいろいろな団体がくっついてくることを期待する。
委員	文化協会は様々な分野があるが、7部門に分けている。
委員	ツリー構造になると思う。それを行政の方に整理していただく。
委員	地域交流センターにもいろんな分野がある。びっくりするぐらいすごい団体だったりする。以前社会教育課にいた際に、講師を探すのに市に一覧表があった。ものすごいページがあり、どういうことを講師していただけるというようなことが記載されていた。
事務局	それは市が作っているものか。
委員	そうである。当時は活用していた。
委員長	今我々が作ろうとしているものは、それである。
委員	それであれば、小難しく考えるのではなく、どこで何をやっているかと

	<p>いう情報、代表者の名前、連絡先があれば一番良い。</p>
委員長	<p>では、今年度はまずそれをやっていく。費用もかからないため。コーディネーターは後々のことである。</p>
事務局	<p>では、コーディネーターは令和7年度にあげていたが、総意でスライドさせていただく。まずはデータベースから。</p>
委員	<p>よその先進地事例を聞いてみたい。電話かけたりして聞くことはできないのか。</p>
事務局	<p>資料にあるように千差万別あるため、ある程度イメージが固まってからの方が良いのではないか。ある程度の概略はすぐわかるため。</p>
委員長	<p>委員が言われたことを目標に次回の2月までにそれが見える化しておいてもらえれば。文化協会の情報を切り口にしてもらえたら。本日の時点ではひとまず情報の電子化ということでよろしいか。では事務局にお返しする。</p>
	<p>次第4 その他</p>
委員	<p>その他の質問になるが、参考資料で予算決算があるが、トータルではあまり変わらないが、文化振興費の委託料が700万円に増えている理由は何か。</p>
事務局	<p>増額した主な理由は、子ども文化ふれあい事業の公演業務委託料及び送迎業務委託料の約300万円である。</p>
事務局	<p>次回の全体の会議については、来年2月頃に改めて日程調整をさせていただくので、御協力をお願いしたい。</p>
	<p>～終了～</p>